



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2023年11月10日

上場会社名 株式会社ソルクシーズ 上場取引所 東
 コード番号 4284 URL <https://www.solxyz.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋山 博紀
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部副本部長 (氏名) 甲斐 素子 TEL 03-6722-5011
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	11,859	16.1	901	32.6	937	33.6	644	75.0
2022年12月期第3四半期	10,212	△0.9	680	△22.6	701	△21.5	368	△60.1

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 685百万円 (41.8%) 2022年12月期第3四半期 483百万円 (△38.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	26.49	26.47
2022年12月期第3四半期	15.14	15.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第3四半期	12,484	8,200	59.2	303.73
2022年12月期	11,455	7,817	61.2	288.36

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 7,387百万円 2022年12月期 7,012百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2023年12月期	—	0.00	—		
2023年12月期（予想）				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,200	15.8	1,250	21.5	1,250	18.4	750	33.0	30.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	26,820,594株	2022年12月期	26,820,594株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	2,498,968株	2022年12月期	2,502,928株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	24,319,566株	2022年12月期3Q	24,316,061株

(注) 「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」は、株式給付信託(J-ESOP)制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、不安定な国際情勢に伴う物価上昇や円安の進展が続いたものの、社会経済活動の正常化に伴い、インバウンド消費をはじめとする個人消費や設備投資が増加するなど、緩やかな回復基調が続き、国内IT投資についてもDX関連投資を中心に堅調に推移しました。

このような中、当社はDX関連を中心に長期・優良案件の確保及びその着実な遂行に努め、その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比16.1%増の11,859百万円となりました。セグメント事業別の外部顧客への売上高の状況は、次の通りです。

- ① ソフトウェア開発事業は、官公庁、証券、製造、流通、その他金融等の広範な業種において好調となり、同13.2%増の8,973百万円となりました。
- ② コンサルティング事業は、連結子会社におけるエッジコンピューティング系（組込系）での増収により、同6.6%増の952百万円となりました。
- ③ ソリューション事業は、エッジコンピューティング系（組込系）開発、クラウドサービス、自動車教習所向けソリューションの各事業で増収となり、同38.8%増の1,933百万円となりました。

損益面につきましては、各セグメント事業における増収により、売上総利益は同19.2%増の2,865百万円となりました。販売費及び一般管理費は、展示会への出展といった営業活動再開による広告宣伝費の増加および、連結子会社においてM&Aに伴う取得関連費用等の計上があり、同14.0%増となりましたが、営業利益は同32.6%増の901百万円、経常利益は同33.6%増の937百万円となりました。更に、特別利益として投資有価証券売却益を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は同75.0%増の644百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は8,327百万円となり、前連結会計年度末に比べ728百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が増加したほか、受取手形、売掛金及び契約資産が増加したことによるものであります。固定資産は4,156百万円となり、前連結会計年度末に比べ301百万円増加いたしました。これは主に、連結子会社の取得によりれんが増加したほか、クラウド事業への投資によりソフトウェアが増加したことによるものであります。

この結果、総資産は12,484百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,029百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,417百万円となり、前連結会計年度末に比べ879百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が増加したほか、下半期の賞与引当金が増加したことによるものであります。

固定負債は866百万円となり、前連結会計年度末に比べ232百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,284百万円となり、前連結会計年度末に比べ647百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は8,200百万円となり、前連結会計年度末に比べ382百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は59.2%（前連結会計年度末は61.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、2023年2月10日の「2023年12月期決算短信」で公表しました通期の連結業績予想から変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,695,405	5,144,184
受取手形、売掛金及び契約資産	2,464,306	2,837,915
有価証券	37,873	—
商品及び製品	241,537	166,083
仕掛品	673	868
原材料及び貯蔵品	623	648
その他	159,168	178,167
貸倒引当金	△50	△53
流動資産合計	7,599,537	8,327,814
固定資産		
有形固定資産	578,154	575,204
無形固定資産		
のれん	1,250	136,507
ソフトウェア	1,136,491	1,202,869
その他	2,034	1,997
無形固定資産合計	1,139,776	1,341,374
投資その他の資産		
投資有価証券	1,134,381	1,167,084
繰延税金資産	546,577	605,230
その他	456,635	468,085
投資その他の資産合計	2,137,594	2,240,401
固定資産合計	3,855,525	4,156,980
繰延資産	124	124
資産合計	11,455,187	12,484,918

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	603,366	1,135,180
契約負債	247,187	389,237
短期借入金	360,000	360,000
1年内返済予定の長期借入金	364,720	266,920
未払法人税等	223,854	346,987
賞与引当金	—	283,031
その他	739,018	636,467
流動負債合計	2,538,146	3,417,823
固定負債		
長期借入金	447,850	255,960
株式給付引当金	26,615	31,852
退職給付に係る負債	362,058	347,824
役員退職慰労引当金	245,526	216,570
その他	17,355	14,776
固定負債合計	1,099,406	866,984
負債合計	3,637,553	4,284,807
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,494,500	1,494,500
資本剰余金	2,250,657	2,255,412
利益剰余金	3,687,785	4,038,295
自己株式	△724,454	△722,981
株主資本合計	6,708,488	7,065,226
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	338,417	351,921
退職給付に係る調整累計額	△34,668	△29,841
その他の包括利益累計額合計	303,749	322,079
新株予約権	169	85
非支配株主持分	805,227	812,719
純資産合計	7,817,634	8,200,111
負債純資産合計	11,455,187	12,484,918

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	10,212,651	11,859,113
売上原価	7,809,162	8,993,553
売上総利益	2,403,488	2,865,560
販売費及び一般管理費		
役員報酬	349,571	371,553
給料	528,070	596,760
賞与	56,154	56,371
賞与引当金繰入額	42,139	42,997
役員退職慰労引当金繰入額	19,361	18,053
退職給付費用	20,563	24,795
法定福利費	121,700	129,940
地代家賃	49,274	47,133
支払手数料	138,856	205,550
のれん償却額	750	7,908
その他	396,904	462,900
販売費及び一般管理費合計	1,723,346	1,963,966
営業利益	680,142	901,593
営業外収益		
受取利息	4,732	6,184
受取配当金	25,821	7,512
デリバティブ評価益	—	5,395
投資事業組合運用益	—	10,452
補助金収入	3,791	6,524
その他	11,336	5,488
営業外収益合計	45,681	41,557
営業外費用		
支払利息	8,686	5,636
デリバティブ評価損	4,385	—
投資事業組合運用損	10,975	—
その他	261	134
営業外費用合計	24,308	5,771
経常利益	701,514	937,378
特別利益		
投資有価証券売却益	—	119,897
特別利益合計	—	119,897
特別損失		
固定資産除却損	165	6
投資有価証券評価損	301	942
特別損失合計	467	949
税金等調整前四半期純利益	701,047	1,056,327
法人税、住民税及び事業税	254,529	445,961
法人税等調整額	27,348	△56,481
法人税等合計	281,878	389,479
四半期純利益	419,169	666,847
非支配株主に帰属する四半期純利益	51,122	22,662
親会社株主に帰属する四半期純利益	368,046	644,185

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	419,169	666,847
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67,562	13,503
退職給付に係る調整額	△3,472	4,826
その他の包括利益合計	64,090	18,330
四半期包括利益	483,259	685,178
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	432,136	662,515
非支配株主に係る四半期包括利益	51,122	22,662

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間より、連結子会社である株式会社エクスマーションが日の出ソフト株式会社の全株式を取得し子会社化したため、連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りの仮定について、2022年12月期決算短信の(追加情報)に記載した内容から変更はありません。

ただし、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確実性が高く、今後の経過によっては、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ソフトウェア 開発事業	コンサルティング 事業	ソリューション 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	7,926,031	893,913	1,392,706	10,212,651	—	10,212,651
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,926,031	893,913	1,392,706	10,212,651	—	10,212,651
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38,263	28,356	139,500	206,119	△206,119	—
計	7,964,294	922,269	1,532,206	10,418,771	△206,119	10,212,651
セグメント利益又は 損失(△)	545,580	132,618	△204,176	474,022	206,119	680,142

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去206,119千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ソフトウェア 開発事業	コンサルティング 事業	ソリューション 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	8,973,455	952,471	1,933,185	11,859,113	—	11,859,113
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,973,455	952,471	1,933,185	11,859,113	—	11,859,113
セグメント間の内部売上高 又は振替高	56,273	28,878	194,100	279,252	△279,252	—
計	9,029,729	981,350	2,127,285	12,138,365	△279,252	11,859,113
セグメント利益又は 損失(△)	668,151	65,539	△104,191	629,499	272,093	901,593

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去279,252千円、のれんの償却費△7,158千円
円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。